

公開講座

「国家と測量」

第2回 戦前の測量と陸地測量部

我が国の近代測量は、明治2年の民部官庶務司戸籍地図掛の設置以来、150年を迎えようとしている。実測日本図を初めて作成した伊能忠敬の没後200年も間近である。我が国の測量・地図史の画期となるこのようなときに、国家が行ってきた測量・地図の歴史をたどり、国家にとって測量・地図が如何に重要であるかを考えてみたい。第2回は、特に陸地測量部発足と小菅智淵の業績を再び振り返り、戦前における国家測量・地図事業と外邦図のことなどを話したい。

- 日時 平成29年1月27日(金) 16:00～17:30 16時より
※公演は、16:00～17:00
- 会場 (公社)日本測量協会 研修室(文京区白山1-33-18 白山NTビル5階)
- 講師 星埜由尚氏
(元)国土交通省 国土地理院長
◆著書 伊能忠敬：日本をはじめて測った愚直の人(山川出版社)他
- 参加費 無料
- CPDポイント 測量CPD1ポイント
- 定員40名
- 申込み方法 申込み〆切日 1月20日(金)
(定員になり次第締め切らせていただきます)

[こちらをクリックして、受付システムによりお申込みください。](#)

お問い合わせ メール: open-lc@jsurvey.jp

Tel: 03-5684-3357 (担当:小林 俊雄)